

第15章 帝国主義の成立 1. 帝国主義の成立 a. 帝国主義

①近代[1 帝国]主義=[2 独占資本主義]段階にたつた諸国が[3 工業製品]の輸出先や[4 原料]供給地(とくに[5 鉱物]資源が重要となる)、工業製品の輸出先などをもとめて植民地・勢力圏を分割、再分割しようという政策、考え方

※資本輸出=先進国が、植民地などの安くて豊富な[6 原材料]や[7 人件費]を利用して企業([8 工場]や[9 鉄道会社]・鉱山開発など)を設立、利益を本国に持ちかえるやり方

② 19世紀前期 [10 イギリス]の経済力が他の国々を圧倒(「世界の工場」)
↓
→ 19世紀後半、新興資本主義国の台頭=[11 イギリス]の経済的優位さの消滅
・[12 アメリカ合衆国],[13 ドイツ]の2ヶ国が生産高でイギリスを抜く
・[14 日本]、ロシアでも産業革命が進展

③植民地の役割の変化

19世紀前期…[15 原料供給地](おもに農業製品)、[16 製品市場]のため必要
↓
独占資本主義段階の植民地
・工業製品の販売市場、[17 鉱工業]原料供給地、および[18 資本輸出市場]
・他の国との対抗上、[19 軍事]的重要な地点の確保
・そのほか、植民地でなくとも、植民地的な地域(勢力圏・従属国・半植民地)を拡大

④ 植民地、勢力圏の獲得競争を激化→[20 1900]年ごろには世界分割がほぼ終了。

b. 列強のアフリカ分割

① 19世紀中期以降、進出をめざす→ベルギーのコンゴ領有をめぐる英仏が対立
↓
レオポルド王によるコンゴ自由国樹立→1884～85[21 ベルリン]会議開催
アフリカ分割の原則を決定

②イギリス…アフリカ[22 縦断]政策

1)[23 エジプト]への保護国化の方向を強化
・[24 スエズ運河]株獲得

・アラブー=パシャの反乱鎮圧
↓
マフディー教徒の抵抗を鎮圧しスーダンへ進出→[25 ナイル]川・大地溝帯に沿い南下

2)南アフリカ…[26 セシル=ローズ]がケープ植民地を拠点に本国の支持下に領土拡大

↓
1899～1902 現地のオランダ系白人([27 ブール]人)を破る
([28 南アフリカ]戦争)

↓
トランスヴァール・オレンジ両国を征服
→1910[29 南アフリカ連邦]を組織
(英自治領にくみこむ)

3)[30 3C]政策をすすめる
=[31 ケープタウン](南アフリカ)
[32 カイロ](エジプト)
[33 カルカッタ](インド)を結ぶ

③フランス…アフリカ[34 横断]政策

19世紀前期[35 アルジェリア]占領→これを拠点にサハラ砂漠を占領→ジブチ方面へ
↓
[36 イギリス]の縦断政策と衝突(1898[37 ファシヨダ]事件発生)
↓
[38 ドイツ]との対抗上、妥協成立(→1904[39 英仏]協商締結へ)

④ドイツ…カメルーン・タンガニーカなど獲得
→[40 モロッコ]進出をめざし[41 フランス]と対立、挫折(モロッコ事件 1905 1911)

⑤イタリア
・ソマリランド・エリトリア占領→[42 エチオピア]占領をめざすが[43 アドワ]の戦いで敗北

・1911～12 [44 イタリア=トルコ]戦争でリビアを奪う

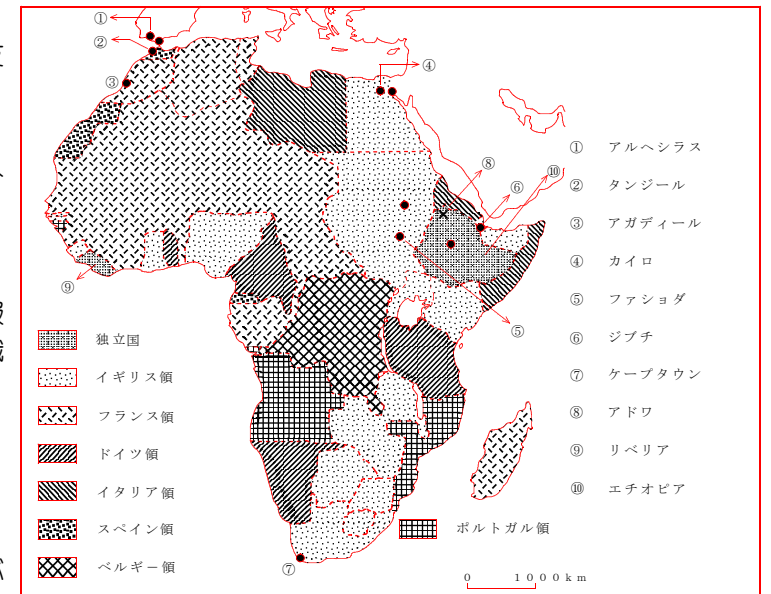
⑥20世紀初頭、エチオピアと[45 リベリア]をのぞき全て列強の支配下におかれる
※実際はアメリカの従属国

c. 列強の太平洋諸地域分割

①イギリス…[46 オーストリア][47 ニューゼーランド]などを占領→自治領に
タスマン、クック探検

②アメリカ…1898年[48 アメリカ=スペイン]戦争で[49 フィリピン]・グアムを獲得、ハワイを併合
→[50 アギナルド]らの抵抗を破る

③ドイツ…ビスマルク諸島・マリアナ諸島など太平洋の島々を獲得(第一次大戦後、北部は日本領に)



アフリカにおける列強の植民地(20世紀初め)